

周防大島町地域公共交通計画（素案）のパブリックコメント結果を受けた新旧対照表

新	旧	備考	意見番号
<p>第1章 はじめに</p> <p>1.1 計画策定の目的 (略)</p> <p>本町においても、乗合バスが運行されていますが、人口の減少、自家用車の一層の普及等により乗合バス利用者が減少し、<u>路線バスの減便や路線短縮につなが</u>っています。一方で、公共交通は自家用車を利用できない町民にとって通院や通学、買い物などのために必要不可欠な移動手段であるといえます。本町では、公共交通の維持・確保のため、財政支援を行っていますが、その負担額は年々増大傾向にあります。</p> <p>(略)</p> <p>第2章 本町の現状とまちづくりの方向性</p> <p>2.1 本町の地域概況</p> <p>2.1.1 位置・地勢 (略)</p> <p><u>町内でも地域により置かれている状況が異なることから、次の4地域に分けて分析・検討を行いました。</u></p> <p>2.1.2 人口</p> <p>人口は<u>4つの総合支所</u>周辺など生活関連施設^(※3)が集中している箇所に集積しています。全体的に人口減少が続いており、平成2年～令和2年の30年間で人口が約半分まで減少しています。</p> <p>(略)</p> <p>2.1.3 施設立地</p> <p><u>4つの総合支所</u>周辺など、沿岸部の特定の場所に役場や商業施設、医療機関、教育機関が集中しています。</p>	<p>第1章 はじめに</p> <p>1.1 計画策定の目的 (略)</p> <p>本町においても、乗合バスが運行されていますが、人口の減少、自家用車の一層の普及等により乗合バス利用者が減少しています。一方で、公共交通は自家用車を利用できない町民にとって通院や通学、買い物などのために必要不可欠な移動手段であるといえます。本町では、公共交通の維持・確保のため、財政支援を行っていますが、その負担額は年々増大傾向にあります。</p> <p>(略)</p> <p>第2章 本町の現状とまちづくりの方向性</p> <p>2.1 本町の地域概況</p> <p>2.1.1 位置・地勢 (略)</p> <p><u>本町ができた後も、旧町単位で状況が異なることから、旧町単位で分析・検討を行います。</u></p> <p>2.1.2 人口</p> <p>人口は旧4町の元役場（現在の支所）周辺など生活関連施設^(※3)が集中している箇所に集積しています。全体的に人口減少が続いており、平成2年～令和2年の30年間で人口が約半分まで減少しています。</p> <p>(略)</p> <p>2.1.3 施設立地</p> <p>旧4町の元役場（現在の支所）周辺など、沿岸部の特定の場所に役場や商業施設、医療機関、教育機関が集中しています。</p>	<p>(追加)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>	<p>意見6</p> <p>意見7</p> <p>意見8</p> <p>意見8</p>

新	旧	備考	意見番号				
<p>2.2 本町のまちづくりの方向性</p> <p>2.2.1 上位・関連計画の整理 (略)</p> <p>第2次周防大島町総合計画 令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)</p> <p>基本理念</p> <p>基本理念1 豊かに暮らす</p> <p>基本理念2 個性を活かす</p> <p>基本理念3 人が活躍する</p> <p>目指す都市像</p> <p>人と自然が響きあう 笑顔あふれる安心のまち 周防大島 ～私たちの たのしい すみたい いきたい島～</p> <p>(略)</p> <p>第2期周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度)</p> <p>基本的な施策の方向</p> <p>1 安定した雇用を創出する</p> <p>2 新しい人の流れをつくる</p> <p>3 若い世代の結婚・出産・子育て・教育の希望を叶える</p> <p>4 安心なくらしを守り連携する地域を創造する</p> <p>(略)</p>	<p>2.2 本町のまちづくりの方向性</p> <p>2.2.1 上位・関連計画の整理 (略)</p> <p>第2次周防大島町総合計画 令和3年度(2021年度)～令和12年度(2030年度)</p> <p>まちづくりの考え方</p> <p>「たのしい島・すみたい島・いきたい島」</p> <p>将来の都市像</p> <p>人と自然が響きあう 笑顔あふれる安心のまち 周防大島 ～私たちの たのしい すみたい いきたい島～</p> <p>第2期周防大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和3年度(2021年度)～令和7年度(2025年度)</p> <p>※公共交通に関する記述なし</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>	<p>意見9</p> <p>意見9</p> <p>意見10</p>				
<p>2.2.2 関係部署の公共交通に係るニーズ等</p> <table border="1" data-bbox="192 1182 1305 1690"> <tr> <td data-bbox="192 1182 430 1690">介護・福祉・医療</td> <td data-bbox="430 1182 1305 1690"> <p>【交通関係の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の方や身体障害者、障害・療育手帳の保有者の方、透析を受けている方に対してタクシー券（初乗り分を助成）を発行。 <p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅前の道が狭く、タクシーを自宅前まで乗り付けることができない方がいると聞いている。 タクシー券は支所・出張所での申請が必要であり、支所・出張所から遠い方からは不便という意見もある。 <p>【今後の検討課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー券の申請は、Webやマイナンバーカードで受け付けることも検討していく必要がある。 タクシー会社との精算にあたり、請求書とタクシー券を提出してもらっているが、これも電子化していきたい。 </td> </tr> </table>	介護・福祉・医療	<p>【交通関係の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の方や身体障害者、障害・療育手帳の保有者の方、透析を受けている方に対してタクシー券（初乗り分を助成）を発行。 <p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅前の道が狭く、タクシーを自宅前まで乗り付けることができない方がいると聞いている。 タクシー券は支所・出張所での申請が必要であり、支所・出張所から遠い方からは不便という意見もある。 <p>【今後の検討課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー券の申請は、Webやマイナンバーカードで受け付けることも検討していく必要がある。 タクシー会社との精算にあたり、請求書とタクシー券を提出してもらっているが、これも電子化していきたい。 	<p>2.2.2 関係部署の公共交通に係るニーズ等</p> <table border="1" data-bbox="1335 1182 2457 1549"> <tr> <td data-bbox="1335 1182 1573 1549">介護・福祉・医療</td> <td data-bbox="1573 1182 2457 1549"> <ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の方、身体障害者、障害・療育手帳の保有者の方、透析を受けている方に対してタクシー券（初乗り分を助成）を発行している。 タクシー券は支所・出張所での申請が必要であり、不便という声もある。Webやマイナンバーカードで受け付けることも検討していかなければならない。 タクシー会社からも請求書とタクシー券を提出してもらっているが、こちらもいずれ電子化していきたい。 道が狭くてタクシーが家に入ることができない方もいらっしゃると聞いている。 </td> </tr> </table>	介護・福祉・医療	<ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の方、身体障害者、障害・療育手帳の保有者の方、透析を受けている方に対してタクシー券（初乗り分を助成）を発行している。 タクシー券は支所・出張所での申請が必要であり、不便という声もある。Webやマイナンバーカードで受け付けることも検討していかなければならない。 タクシー会社からも請求書とタクシー券を提出してもらっているが、こちらもいずれ電子化していきたい。 道が狭くてタクシーが家に入ることができない方もいらっしゃると聞いている。 	<p>(変更)</p>	<p>意見11</p>
介護・福祉・医療	<p>【交通関係の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の方や身体障害者、障害・療育手帳の保有者の方、透析を受けている方に対してタクシー券（初乗り分を助成）を発行。 <p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自宅前の道が狭く、タクシーを自宅前まで乗り付けることができない方がいると聞いている。 タクシー券は支所・出張所での申請が必要であり、支所・出張所から遠い方からは不便という意見もある。 <p>【今後の検討課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> タクシー券の申請は、Webやマイナンバーカードで受け付けることも検討していく必要がある。 タクシー会社との精算にあたり、請求書とタクシー券を提出してもらっているが、これも電子化していきたい。 						
介護・福祉・医療	<ul style="list-style-type: none"> 80歳以上の方、身体障害者、障害・療育手帳の保有者の方、透析を受けている方に対してタクシー券（初乗り分を助成）を発行している。 タクシー券は支所・出張所での申請が必要であり、不便という声もある。Webやマイナンバーカードで受け付けることも検討していかなければならない。 タクシー会社からも請求書とタクシー券を提出してもらっているが、こちらもいずれ電子化していきたい。 道が狭くてタクシーが家に入ることができない方もいらっしゃると聞いている。 						

新		旧		備考	意見番号
				(変更)	意見 11
教育	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に東和地区で小学校の統合があるが、現時点ではそれ以降の統廃合の計画はない。 中学校での部活動の地域移行を進めているが、地域移行した場合に学校から練習場所までの移動にスクールバスを使えなくなる可能性がある。 現在、すでに外部の指導員に委託している部活動で、スクールバスの運行時間外の場合は、徒歩、自転車もしくは保護者の送迎に頼らざるを得ず、保護者や部活指導員から苦情が入っている。 	教育	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年度に東和地区で小学校の統合があるが、現時点ではそれ以降の統廃合の計画はない。 部活動が地域移行した場合、スクールバスを使えなくなる可能性がある。 現在、すでに外部の指導員に委託している部活動で、スクールバスの運行時間外の場合は、徒歩、自転車もしくは保護者の送迎になり、保護者や部活指導員から苦情が入っている。 		
都市・施設整備	<p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各総合支所付近と伊保田港、道の駅サザンセットとうわが地域の中心になっている。 本町内外のショッピングセンターやスーパーへの需要が高まり、地域の個人商店は縮小傾向にあり、空き店舗も増加している。 都市計画区域も大島地区と東和地区の一部地域に限られるため、都市計画マスタープラン、立地適正化計画の策定予定は現時点ではない。 	都市・施設整備	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープラン、立地適正化計画の策定予定は現時点ではない。(都市計画区域も大島・久賀・片添の一部地域に限られるため) 旧町の庁舎があった付近と伊保田港、道の駅サザンセットとうわが地域の中心になっている。 本町内外のショッピングセンターやスーパーへの需要が高まり、地域の個人商店は縮小傾向。空き店舗も増加している。 		
観光	<p>【交通関係の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客から役場宛にバスの時刻等の問合せもあるが、バスだけでは不便な場合があるため、レンタカーやタクシーも併せて案内している。 <p>【現状・問題点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客は90%以上が自家用車やバイクで来訪している。 中国5県から来る人が全体の92%を占めている。 インバウンドは宮島までで周防大島までは来ない。米軍基地従事者が来られる程度。 <p>【今後の検討課題等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 首都圏や関西エリアからの誘客を目指したい。 	観光	<ul style="list-style-type: none"> 観光客は90%以上が自家用車やバイクで来訪。中国5県で92%を占めている。 インバウンドは宮島までで周防大島までは来ない。米軍基地従事者が来られる程度。 首都圏や関西エリアからの誘客を目指したい。 観光客からバスの時刻等の問合せもあるが、レンタカーやタクシーも併せて案内している。 		
その他	<p>【DXの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度に役場にDX推進班が新設され、業務の効率化や行政サービスの改善等、検討中である。 <p>【移住定住対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 人口減少対策として移住定住対策に力を入れており、東京や大阪で開催される移住イベントに出展し、周防大島町への移住をPRしている。 町内には多くの空家があり、移住定住希望者に貸出や売却を促すための空家バンクを行っている。 本町内には就職できる事業所が少なく、起業するか東京・大阪等の仕事をテレワークで対応することが多い。 	その他	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度にDX推進班が新設された。業務の効率化や行政サービスの改善等、検討中である。 人口減少対策として移住定住対策に力を入れており、東京や大阪で開催される移住イベントに出展し、周防大島町への移住をPRしている。 町内には多くの空家があり、移住定住希望者に貸出や売却を促すための空家バンクを行っている。 本町内には就職できる事業所が少なく、起業するか東京・大阪等の仕事をテレワークで対応することが多い。 		

新	旧	備考	意見番号				
<p>第4章 公共交通の利用実態・ニーズ</p> <p>4.2 町民等の移動ニーズ</p> <p>4.2.1 町民の目的別の移動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 買い物はおおむね<u>居住地区内や柳井市で行われて</u>いますが、東和地区は分散傾向にあります。 ● 通院は、町営医療機関のある大島地区や橘地区、東和地区<u>や柳井市</u>への需要がみられ、各地区相互の移動も多くなっています。 <p>(略)</p> <p>4.3 運行事業者等の意向</p> <p>交通事業者へのヒアリングにより把握した現状認識や問題点等を次のとおり整理しました。</p>	<p>第4章 公共交通の利用実態・ニーズ</p> <p>4.2 町民等の移動ニーズ</p> <p>4.2.1 町全体の移動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 買い物はおおむね<u>居住地区内で完結して</u>いますが、東和地区は分散傾向にあります。 ● 通院は、町営医療機関のある大島地区や橘地区、東和地区への需要がみられ、各地区相互の移動も多くなっています。 <p>交通事業者へのヒアリングにより把握した現状認識や問題点等を次のとおり整理しました。</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p> <p>(変更)</p>	<p>※</p> <p>意見 12</p> <p>意見 12</p> <p>意見 13</p>				
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="178 678 418 982">路線バス</td> <td data-bbox="418 678 1320 982"> <ul style="list-style-type: none"> ● 周防大島高校や大島商船高等専門学校に通う学生が多く利用している。 ● 自治体から補助金を頂いている路線は可能な限り維持する考えだが、運転手不足により維持できなくなった場合は、減便、廃止の可能性はある。 ● スクールバス(<u>一般混乗型</u>)と路線バスとの接続を考慮することは考えられる。スクールバスとの接続を考慮すると、<u>周防大島高校や大島商船高等専門学校、町外の学校の</u>登校時間と合わなくなる可能性がある。 </td> </tr> </table>	路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 周防大島高校や大島商船高等専門学校に通う学生が多く利用している。 ● 自治体から補助金を頂いている路線は可能な限り維持する考えだが、運転手不足により維持できなくなった場合は、減便、廃止の可能性はある。 ● スクールバス(<u>一般混乗型</u>)と路線バスとの接続を考慮することは考えられる。スクールバスとの接続を考慮すると、<u>周防大島高校や大島商船高等専門学校、町外の学校の</u>登校時間と合わなくなる可能性がある。 	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="1320 678 1561 982">路線バス</td> <td data-bbox="1561 678 2472 982"> <ul style="list-style-type: none"> ● 周防大島高校や大島商船高等専門学校に通う学生が多く利用している。 ● 自治体から補助金を頂いている路線は可能な限り維持する考えだが、運転手不足により維持できなくなった場合は、減便、廃止の可能性はある。 ● スクールバス<u>油田森野線</u>と路線バスとの接続を考慮することは考えられる。スクールバスとの接続を考慮すると、登校時間と合わなくなる可能性がある。 </td> </tr> </table>	路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 周防大島高校や大島商船高等専門学校に通う学生が多く利用している。 ● 自治体から補助金を頂いている路線は可能な限り維持する考えだが、運転手不足により維持できなくなった場合は、減便、廃止の可能性はある。 ● スクールバス<u>油田森野線</u>と路線バスとの接続を考慮することは考えられる。スクールバスとの接続を考慮すると、登校時間と合わなくなる可能性がある。 		
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 周防大島高校や大島商船高等専門学校に通う学生が多く利用している。 ● 自治体から補助金を頂いている路線は可能な限り維持する考えだが、運転手不足により維持できなくなった場合は、減便、廃止の可能性はある。 ● スクールバス(<u>一般混乗型</u>)と路線バスとの接続を考慮することは考えられる。スクールバスとの接続を考慮すると、<u>周防大島高校や大島商船高等専門学校、町外の学校の</u>登校時間と合わなくなる可能性がある。 						
路線バス	<ul style="list-style-type: none"> ● 周防大島高校や大島商船高等専門学校に通う学生が多く利用している。 ● 自治体から補助金を頂いている路線は可能な限り維持する考えだが、運転手不足により維持できなくなった場合は、減便、廃止の可能性はある。 ● スクールバス<u>油田森野線</u>と路線バスとの接続を考慮することは考えられる。スクールバスとの接続を考慮すると、登校時間と合わなくなる可能性がある。 						
<p>(略)</p>	<p>(略)</p>						
<p>第5章 本町の公共交通を取り巻く問題点、課題</p> <p>5.1 本町の公共交通を取り巻く現状、問題点</p> <p>(略)</p> <p>現状・問題点④ 町や沿線施設等に公共交通を活かす意識が不足</p> <p>町民は公共交通を不便に感じ、自家用車での移動が当たり前の状況になっていると言えます。</p> <p>町や沿線施設、町民等が、公共交通が不便であるという認識が強いことから、公共交通を利用したり、公共交通を活かせる取組をする意識が不足しています。</p> <p>例えば、本町にUIJターンで移住を希望する人が役場などに相談した際に、普段の外出で公共交通は不便なため自家用車での移動を勧めてしまっている事例があるなど、公共交通を利用する機会を逸してしまっている可能性があります。</p> <p>また、公共施設や観光施設等において公共交通でアクセスする情報が不足しており、どう行けばいいか、何時に乗れるかなどの案内が不十分であることから、公共交通が分かりづらいものとして認識されている可能性があります。</p> <p>なお、本町のバス路線は、以前は国鉄バスとして運行されていた経緯から、バス停の上屋や椅子が整備されている場所が多く、比較的良好な待合環境が整備されている場合があります。しかし、乗継場所となっている一部バス停では、そうした施設が不十分なところもみられます。</p> <p>(略)</p>	<p>第5章 本町の公共交通を取り巻く問題点、課題</p> <p>5.1 本町の公共交通を取り巻く現状、問題点</p> <p>(略)</p> <p>現状・問題点④ 公共交通を活かす意識の共有が不十分</p> <p>本町にUIJターンで移住して来る人は、公共交通の利用になじみのある都市部の人が多いものの、移住者に対して自家用車の利用を勧めてしまっており、公共交通を利用する機会を逸してしまっている可能性があります。</p> <p>また、公共施設や観光施設等において公共交通でアクセスする情報が不足しており、どう行けばいいか、何時に乗れるかなどの案内が不十分であることから、公共交通が分かりづらいものとして認識されている可能性があります。</p> <p>なお、本町のバス路線は、以前は国鉄バスとして運行されていた経緯から、バス停の上屋や椅子が整備されている場所が多く、比較的良好な待合環境が整備されている場合があります。しかし、乗継場所となっている一部バス停では、そうした施設が不十分なところもみられます。</p> <p>(略)</p>	<p>(変更)</p> <p>(変更)</p>	<p>意見 14</p> <p>意見 15</p>				

※事務局にて変更した項目

新	旧	備考	意見番号
<p>現状・問題点⑥ 移動需要の変化に対し公共交通ネットワークが不整合</p> <p>高齢化率の高い本町において、今後も人口減少と高齢化率のさらなる上昇と町営医療機関の見直しが見込まれる中で通院に係る移動ニーズも増加する見込みです。そうした中で、町営医療機関から周東総合病院を紹介される場合があります、周東総合病院への通院需要が以前より増加しています。以前は本町内の路線バスが周東総合病院やゆめタウン柳井、柳井駅まで直通していましたが、路線の見直しにより大島駅までに短縮されており、大島駅からは JR でないと柳井方面へは行けません。こうした状況下において、周東総合病院に通院される方は、乗継を敬遠して片道 6,000 円～8,000 円の高額なタクシー料金を負担して通院している状況です。</p> <p>(略)</p>	<p>現状・問題点⑥ 移動需要の変化に対し公共交通ネットワークが不整合</p> <p>高齢化率の高い本町において、今後も人口減少と高齢化が見込まれる中で医療ニーズも増加する見込みです。そうした中で、町営医療機関から周東総合病院を紹介される場合があります、周東総合病院への通院需要が以前より増加しています。以前は本町内の路線バスが周東総合病院やゆめタウン柳井、柳井駅まで直通していましたが、路線の見直しにより大島駅までに短縮されており、大島駅からは JR でないと柳井方面へは行けません。こうした状況下において、周東総合病院に通院される方は、乗継を敬遠して片道 6,000 円～8,000 円の高額なタクシー料金を負担して通院している状況です。</p> <p>(略)</p>	(変更)	意見 16
<p>5.2 本町の公共交通の課題</p> <p>本町の公共交通が果たすべき役割や、本町の公共交通の現状・問題点の内容を踏まえ、問題を解決するための課題を以下の 5 つに整理しました。</p> <p>(略)</p>	<p>5.2 本町の公共交通の課題</p> <p>本町の公共交通が果たすべき役割や、本町の公共交通の現状・問題点の内容を踏まえ、問題を解決するための課題を整理すると、以下の 5 つに整理されます。</p> <p>(略)</p>	(変更)	意見 18
<p>課題③ 公共交通の結節点を起点とした地域づくりの推進</p> <p>公共交通ネットワークの見直しと合わせて、乗継を行う「結節点」では、乗継時間を有効に使い、安心してバス等を待つことのできる環境をつくっていく必要があります。</p> <p>このとき、町民による地域づくりの取組のみならず、状況等に応じて UIJ ターン人材と町民との新たな交流も期待し、地域の活力を生むことも目指していく必要があります。</p> <p>(略)</p>	<p>課題③ 公共交通の結節点を起点とした地域づくりの推進</p> <p>公共交通ネットワークの見直しと合わせて、乗継を行う「結節点」では、乗継時間を有効に使い、安心してバス等を待つことのできる環境をつくっていく必要があります。</p> <p>このとき、UIJ ターン人材を活用しつつ、地域づくりとも連携して行うことで、UIJ ターン人材と地域住民との交流が生まれ、地域の活力を生むことも目指していく必要があります。</p> <p>(略)</p>	(変更)	意見 19
<p>第 6 章 計画の基本的な方針</p> <p>6.4 基本方針</p> <p><周防大島町の公共交通を良くするために取り組む 5 つの方針></p> <p>(略)</p> <p>④ 地域とつながっていること</p> <p>公共交通は単独では成り立たず、まちづくりや教育、医療、福祉、観光と密接に連携することで持続可能となっていきます。特に地域住民や地域の取組との連携は非常に重要です。そうした地域とのつながりを深める取組を進め、公共交通を愛し、守り育てていく取組を進めます。</p> <p>(略)</p>	<p>第 6 章 計画の基本的な方針</p> <p>6.4 基本方針</p> <p><周防大島町の公共交通を良くするために取り組む 5 つの方針></p> <p>(略)</p> <p>④ 地域とつながっていること</p> <p>公共交通は単独では成り立たず、都市計画や教育、医療、福祉、観光と密接に連携することで持続可能となっていきます。特に地域住民や地域の取組との連携は非常に重要です。そうした地域とのつながりを深める取組を進め、公共交通を愛し、守り育てていく取組を進めます。</p> <p>(略)</p>	(変更)	意見 26
<p>第 7 章 計画の目標、評価指標</p> <p>(略)</p>	<p>第 7 章 計画の目標、評価指標</p> <p>(略)</p>		

新	旧	備考	意見番号
<p>第8章 目標達成のための施策・事業</p> <p>8.2 施策と事業の内容 (略)</p> <p>事業④-3 結節点が地域の拠点となる取組の実施</p> <p><u>対応する課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 乗継を行う「結節点」では、乗継時間を有効に使い、安心してバス等を待つことのできる環境をつくっていく必要がある ➤ 移住者との連携も活かし、地域の活力を生むことも目指していく必要がある <p><u>事業概要イメージ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 結節点を複合機能化し、地域の拠点性を向上（結節点を地域の目的地化） <ul style="list-style-type: none"> ・物販施設や飲食店等、複合機能化を図りやすくする（オフィス利用等も可、新たな施設整備のみを志向しない） ・<u>空きスペース等の利活用を呼び掛ける情報発信を行い、町民や移住者等で店舗やオフィスの開設を目指している人にも積極的に情報提供</u> ・開業に向けた準備には地域の協力を仰ぐ（町からも呼びかけ） 	<p>第8章 目標達成のための施策・事業</p> <p>8.2 施策と事業の内容 (略)</p> <p>事業④-3 結節点が地域の拠点となる取組の実施</p> <p><u>対応する課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 乗継を行う「結節点」では、乗継時間を有効に使い、安心してバス等を待つことのできる環境をつくっていく必要がある ➤ 移住者との連携も活かし、地域の活力を生むことも目指していく必要がある <p><u>事業概要イメージ</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 結節点を複合機能化し、地域の拠点性を向上（結節点を地域の目的地化） <ul style="list-style-type: none"> ・物販施設や飲食店等、複合機能化を図りやすくする（オフィス利用等も可、新たな施設整備のみを志向しない） ・<u>移住者で新規に店舗等の開業を目指している人がいる場合に、場所を提供</u> ・開業に向けた準備には地域の協力を仰ぐ（町からも呼びかけ） 	<p>(変更)</p>	<p>意見 30</p>